

2022年11月10日

各位

会社名：富士石油株式会社
 代表者名：取締役社長 山本 重人
 (コード番号：5017 東証プライム市場)
 問合せ先：総務部 IR・広報グループ 鈴木 龍司
 TEL：(03)5462-7803
 URL：<http://www.foc.co.jp/>

第2四半期連結累計期間の業績予想との差異に関するお知らせ

2022年8月10日に公表の2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2022年8月10日発表)	446,100	23,700	23,700	19,900	258.23
今回発表実績 (B)	444,773	16,474	17,276	14,482	187.84
増減額 (B - A)	△1,326	△7,225	△6,423	△5,417	
増減率 (%)	△0.3	△30.49	△27.11	△27.22	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	148,681	△1,083	△1,359	△302	△3.93

2. 差異の理由

前回の予想は、第2四半期連結累計期間のドバイ原油価格を99.1ドル/バレル、為替レートを129.9円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、102.5ドル/バレル、134.0円/ドルとなりました。

ドバイ原油価格については前回予想を上回ったものの、7月以降は9月末にかけて下落傾向となったことにより、在庫影響（総平均法及び簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）による原価押し下げ要因が126億円（前回予想は153億円の原価押し下げ要因）となり、前回予想に比して原価の押し下げ効果が縮小したことに加え、製品マージンが想定を下回ったこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について、前回予想を下回る結果となりました。

以上